

平成30年度外務大臣表彰授与式：大使挨拶

皆様、こんにちは。

本日は、ブラジル日本人移住110周年の節目に、平成30年度外務大臣表彰授与式をこのように開催できることを大変嬉しく思います。

今回の外務大臣表彰においては、当館管轄地域から、アゴスチーニョ・シバタ氏、ロベルト・マモル・フジモト氏、エルミニオ・ヒデオ・スギノ氏が受章されました。外務大臣表彰の受賞、誠におめでとうございます。

それでは、3名の方の御功績について紹介させていただきます。

アゴスチーニョ・シバタ氏は、ブラジル空軍歩兵科入隊以降、その勤勉かつ献身的な仕事ぶりで、部隊内で重要な地位を占めるようになり、大統領府大統領警護補佐官に抜擢された経歴をお持ちです。2人の大統領に仕え、特に、1990年にコロール大統領訪日に同行した際には、大統領から総理に直接紹介されるなど、日ブラジルの特別な絆を示す役割を担われました。2007年には、ブラジル空軍史上初めて歩兵科将校として少将に昇任し、当国における日系人の地位向上に大きく貢献するとともに、日系人社会に大きな希望を与えました。退役後は、日系人交流においても大いに尽力され、現在では、ソフトボールやテニスに精力的に取り組み、日本大使館員もしばしばお世話になっております。

ロベルト・マモル・フジモト氏は、土木技師として、老朽化していたブラジリア日伯文化娯楽クラブの施設整備に尽力されるとともに、FESTA JUNINAでの日本料理や文化の紹介で日本文化の普及・クラブの活性化に貢献されました。さらに、若者のクラブ離れ解決のため、スポーツ教室の創設や和太鼓グループの結成に着手され、日系青年交流グループであるICOの活動も積極的に後押しされました。高齢層の活動に関しても、カラオケや手芸クラブを創設し、世代を超えた日系社会の活動の活性化に貢献された他、剣道や和太鼓などの武道教室を開催してブラジル人に対する日本文化の普及にも尽力されました。

エルミニオ・ヒデオ・スギノ氏は、青年期に海外留学を通じて農業を学び、帰国後は日系社会の活動に積極的に携わって来られました。様々な活動を通して人望を得て、ブラジル中西部日伯協会連合会（FEANBRA）の会長に就任、以降、傘下団体間の連携促進や各日系団体が開催する行事の調整等に尽力されました。特筆すべきはFEANBRAでのご活躍です。毎年5月にParque da cidade

で開催される連邦区内最大の日本文化の祭典「日本祭り」の準備・実施に尽力され、同祭りをブラジルアでの一大イベントに育てあげました。それにより、日系社会のみならず、ブラジル社会にもその活動を広く知られ、日本文化の普及と日系人の地位向上に大きく貢献されています。日本に関する知識への探求心は衰えることを知らず、近年ではブラジルア大学で優秀学生賞をもって日本語の教員育成課程を卒業されました。

改めて、この度表彰された方々の御功績に心から敬意を表し、お祝い申し上げますと共に、今後の益々のご活躍とご健勝をお祈り致します。また、この機会に、御家族、友人をはじめ、協力してこられた関係者の皆様に感謝するとともに、お祝い申し上げます。

どうもありがとうございました。

(了)